

## お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を  
心から歓迎いたします。  
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

### 教会の働き

- 11月2日(日) 主日夕方賛美礼拝の後教会運営会議があります。関係者は今週中資料を提出して下さい。
- 11月6-7日 聖契神学校のスクーリングに参加します。
- 11月23日(日)本場キムチバザー&コンサートが行われます。主日礼拝は チャン・トンオク牧師が御言葉を取り次いでくださいます。礼拝後 午後2時から バザーとコンサートを行います。チラシとポスターが印刷されます。どうぞ、隣人やご家庭での広報・伝道のためにご活用ください。地域の方々に主の愛と喜びが伝わるように、一枚一枚のチラシが福音の種として用いられることを祈ります。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・コロナとインフルエンザから守られますように。
- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)



「信仰とは何でしょうか 2」  
ルカの福音書 17章5～10節

5 使徒たちは主に言った。「私たちの信仰を増し加えてください。」6 すると主は言われた。「もしあなたがたに、からし種ほどの信仰があれば、この桑の木に『根元から抜かれて、海の中に植われ』と言うなら、あなたがたに従います。…9 しもべが命じられたことをしたからといって、主人はそのしもべに感謝するでしょうか。10 同じようにあなたがたも、自分に命じられたことをすべて行ったら、『私たちは取るに足りないしもべです。なすべきことをしただけです』と言いなさい。」

### 来週礼拝奉仕者

主日礼拝 韓芽唯(賛美リーダー) 高木はつえ(祈祷)

夕方賛美礼拝 韓芽唯(賛美リーダー) 松島スヤンティ(祈祷)

水曜礼拝 高木はつえ(司会) 北原孝子(祈祷)

### 礼拝時間案内

主日礼拝	AM 11:00
夕方賛美礼拝	PM 2:30
教会学校(小学生まで)	AM 9:50～10:30
水曜礼拝	PM 7:00
祈祷会・火・木曜日	PM 8:30～9:30
土曜日	PM 8:00～9:00

週報 2025-43 号

2025.10.26

神の国とその義を  
第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

## 飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

[www.iidahc.com](http://www.iidahc.com)

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

<b>主日礼拝</b>		<b>AM 11:00～</b>
	賛美リード	柳澄香
信仰告白	(使徒信条)	
代表祈禱	北原孝子	
特別賛美	インマヌエル聖歌隊	
聖書箇所	ルカの福音書 17:5-10	
	(信仰とは何でしょうか？ 2)	
メッセージ	柳承吉牧師	
賛美	神の家族	
祝 禱	柳承吉牧師	

<b>夕方賛美礼拝</b>		<b>PM 2:30～</b>
	賛美リード	柳澄香
代表祈禱	熊谷茂美	
聖書箇所	ローマ書 6:6-7	
	(罪の奴隷ではない。)	
メッセージ	柳 承吉牧師	
主の祈り		

<b>水曜礼拝</b>		<b>PM 7:00～</b>
司 会	北原孝子	
代表祈禱	韓芽唯	
聖書箇所	ローマ書 7:19-25	
メッセージ	ローマ書 7 章の概略(8) 柳承吉牧師	
主の祈り		

## 今週の御言葉

### 「信仰とは何でしょうか 2」

ルカの福音書 17 章 5～10 節

生きた信仰とは何か？

主はさらに、しもべのたとえを通して「生きた信仰」がどのようなものかを教えられます(17:7-10)。

畑仕事を終えたしもべが家に帰ってきたとき、主人は「お疲れさま。まず食べなさい」と言うのでしょうか。そうではありません。しもべは、疲れていても、まず主人の食事の用意をし、仕え、主人が食事を終えてから自分の食事をします。しかしそのしもべは、こう言います。「私は無益なしもべです。なすべきことをしただけです。」(17:10)

ここに“生きた信仰”の三つの特徴が示されています。

#### ① 主への畏敬「(いけい)おそれうやまうこと」

しもべは、恐れではなく尊敬の心から主人に仕えています。当時の宗教指導者たちは、神を“厳しい裁き主”として恐れさせていました。しかし真の信仰は、罰への恐れではなく、恵みへの感謝と尊敬から生まれます。

マタイ 25 章の「一タラントのしもべ」は、主人を「きびしい方」と誤解し、恐れゆえに何もしませんでした。神を誤って恐れると、信仰は硬直し、喜びが失われます。しかし神を愛し尊び、感謝の心で仕える時、信仰は自由に息づきます。

#### ② 実行する信仰

信仰は頭の中の理解ではなく、行動で示されるものです。弟子たちは「七度赦すのは無理だ」と思いましたが、主は言われます。「からし種ほどの信仰でいい。まずやっ

てみなさい。」行動してみて初めて分かるのです。「自分にはできない」と思っていたことが、主の力によってできるようになる。それが従順です。信仰とは、“分かるから従う”のではなく、“従うから分かる”生き方です。

#### ③ 謙遜

「私は無益なしもべです。なすべきことをしただけです。」この一言に、信仰の核心が表れています。生きた信仰とは、自分の力を誇らず、神の力に頼ることです。「私がやる」のではなく、「主がなさる」。「主よ、私はできません。あなたが助けてください。」この祈りこそ、謙遜な信仰の証です。

私たちは皆、誰かをつまづかせることのない完全な人間ではありません。一日に七度赦すことも、自分の力では不可能です。しかし、主の恵みにすがらば、できます。自分の力ではなく、内におられるキリストの力によって。信仰とは、自分を見つめることではなく、主を見上げることです。自分を見れば、できない理由や言い訳はいくらでも出てきます。しかし主を見上げるとき、できない理由は消えます。主が共におられ、力を与えてくださることを信じる時、“からし種一粒の信仰”が、奇跡を起こすのです。

私たちに必要なのは、大きな信仰ではありません。生きた信仰、いのちある信仰です。その信仰は、神を畏れ敬い、みことばに従って実行し、謙遜に神の力に頼る信仰です。「信仰が小さいからできない」と言い訳せず、「小さくても生きている信仰」をもって、今日から歩みましょう。主が共におられるなら、からし種一粒で十分です。主の力を信じて一歩を踏み出すとき、神は私たちを通して働かれ、驚くべきことをなされます。